

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		指定文化財等維持管理事業		担当課	生涯学習課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度											
				担当係	指定文化財係							活動指標 (実施状況)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)									
まちづくりアソシエーション (基本目標)	振興計画体系	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予算科目	会計	1	10	4	6	備考	ア	申請件数	件	2	2	2	2	2										
		3	文化を守り・育み・つなげるまち		主な費目	役務費、委託料、負担金補助及び交付金						イ	補助金交付件数	件	2	2	2	2	2									
		2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用	対象		歴史遺産					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)										
		4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる		事業期間	平成17年度～ 年度 (年間)					ア	直接維持管理を行う指定文化財数	件	26	26	26	30	30										
		5	観光パワーアッププロジェクト	イ		個人及び団体所有の指定文化財数/指定文化財	件	0.69	0.69	0.69	0.73	0.73																
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価																	
年間 事業費 タ ル コ ス ト	事業内訳	財源内訳	千円						有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	・貴重な歴史遺産である文化財を保護することで、地域の宝である文化財を次世代に継承できる。 ・文化財指定により所有者のみのものではなく、地域の宝としての価値を持つことから、経済的支援が必要である。																	
		国県支出金	千円																									
		その他特定財源	千円																									
		一般財源	千円	3,118	2,938	3,168	5,069	2,577									2,577											
		事業費計 (A)	千円	3,118	2,938	3,168	5,069	2,577									2,577											
		所要人員 (年間)	人	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000									1,000											
人件費概算 (B)	千円	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600																					
(A) + (B)	千円	8,718	8,538	8,768	10,669	8,177	8,177	効率性 評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	・令和元年度に、国指定名勝の天水氏庭園の公有化が完了し、今後、阿多氏庭園の国登録化、平山氏庭園の公有化により、維持管理の範囲が拡大し経費の増が考えられるが、国指定文化財は、国からの特別交付税の算定基礎となっており、指定文化財の保存に支障をきたさないよう、配慮がなされている。 ・市の補助事業に関しては、補助率のみの規定となっており、多額の事業費となった場合には、財政的な負担が大きくなるため、事業費上限を定めた基準を設ける必要がある。																		
(2) 事業概要		事業目的														貴重な歴史遺産を保護することで、地域の宝である文化財を次世代へ継承する。												
事業内容		・歴史遺産を適正な状態で公開出来るように、年間を通じての点検及び維持作業、修復・修繕業務を実施する。 ・個人及び団体が所有する国・県・市の指定文化財等の修繕など、維持管理に係る経費の4分の3を市単独の補助金として交付する。														達成度 評価						・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢・環境の変化 ・事業期間	貴重な歴史遺産である文化財の保護することで、地域の宝である文化財を次世代に継承するとともに、積極的に公開・活用することで、観光入込客の増加を推進する。					
開始経緯		・指定文化財の維持管理は、文化財保護法に基づき、昭和25年より開始した。 ・平成20年から指定文化財等保護事業補助金として、個人、団体所有の指定文化財の維持管理費用の負担軽減を図るため、本事業を創設した。														改革 改善案												
実施状況		・志布志城(内城)跡・志布志麓庭園・市内指定文化財等維持管理業務 ・鳥濱氏庭園・清水氏庭園維持管理補助金 ・宝満寺跡ほか指定文化財等の維持管理														拡充		○	現状維持	改善	効率化							
成果		・歴史遺産を適正な状態で公開出来るように、年間を通じての点検及び維持作業、修復・修繕業務を実施した。 ・個人及び団体が所有する国・県・市の指定文化財等の修繕など、維持管理に係る経費の4分の3を市単独の補助金として交付した。																										
課題		・国指定の文化財については、適切に管理されているが、その他の文化財については十分とはいえない。 ・指定文化財の所有者からは、補助金の増額の要望がある。																										

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		山中氏邸保存活用整備事業		担当課	生涯学習課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度					
				担当係	指定文化財係					活動指標 (実施状況)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)					
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画体系	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予算科目	会計	1	10	4	6	備考	ア	3 1	3 1	3 1	3	3						
(個別目標)	3	3	文化を守り・育み・つなげるまち	主な費目	修繕料、委託料、工事請負費					イ												
(施策)	2	2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用	対象	市指定建造物 山中氏邸					成果指標 (成果・効果)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)					
(基本目標)	総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	事業期間	平成17年度～ 年度 (年間)					ア	山中氏邸来場者数	人	600 211	600 214	600 250	600	600					
(施策)	5	5	観光パワーアッププロジェクト								イ											
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価													
年間 トータル コスト	事業費	千円							有効性 評価	・ 市民のニーズ ・ 事業の効果 ・ 政策との整合性 ・ 事業を廃止の影響 ・ 類似事業との連携 ・ 公平性	所管課による評価						志布志東部地区の「歴史遺産を活用した魅力ある観光まちづくり計画」において企画展等による活用が示され、志布志駅と志布志麓との中間地点としての活用が期待される。					
	財源内訳	千円																				
	国県支出金	千円																				
	その他特定財源	千円																				
	一般財源	千円	533	5,224	1,725	388	388	388														
	事業費計 (A)	千円	533	5,224	1,725	388	388	388														
所要人員 (年間)	人	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	効率性 評価	・ 事業効果向上 ・ 事業費削減 ・ 事務の効率化 ・ 費用対効果 ・ 財政負担の必要性 ・ 関係者との連携	当初の基本設計では、文化財の保存修理として全解体復原による整備が検討されていたが、「市指定建造物山中氏邸の商家資料館としての活用案」策定後、当面、年次的な公開・活用のため修繕により、整備を行う方針に変更された。志布志東部地区の「歴史遺産を活用した魅力ある観光まちづくり計画」において企画展等による活用が示され、志布志駅と志布志麓との中間地点としての活用が期待される。												
人件費概算 (B)	千円	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600															
(A) + (B)	千円	6,133	10,824	7,325	5,988	5,988	5,988															
(2) 事業概要																						
事業目的	市指定建造物であり、市内に唯一現存する白壁漆喰の商家である山中氏邸の保存・活用を図る。																					
事業内容	志布志地区の旧市街の面影を伝える町屋地区の、歴史遺産である山中氏邸は、平成18年度に公有化され、平成19年度には、主屋の整備のための基本設計業務を実施し、修理・復元の基本方針を決定した。また、商家資料館活用検討委員会においては、4棟の建造物の活用策について検討を行い、平成25年度に活用計画を策定し、今後、活用策に基づく修繕・整備を行っていく予定である。																					
開始経緯	山中氏邸は市内で唯一現存する白壁漆喰の商家であり、大変貴重であるため、平成18年度に公有化した。																					
実施状況	山中氏邸で企画展を開催するための環境整備として、企画展に合わせた維持管理を実施した。																					
成果	山中氏邸において、1回の企画展及び公開を実施した。 令和3年度にトイレ改修工事を実施し、主屋内のトイレが使用可能となった。 令和4年度は大雨による災害復旧として軒先等の修繕を実施した。																					
課題	・ 整備・活用を目的に公有化を行ったが、整備に関して推進が図られていないことに批判が寄せられている。 ・ 老朽化が進み、文化財保存のための修繕等が必要となっている。 ・ 整備推進のための財源確保が最重要課題である。																					
		拡充		○ 現状維持		改善		効率化		廃止終了												
		改革改善案																				

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		志布志麓庭園整備事業		担当課	生涯学習課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度						
				担当係	指定文化財係				活動指標 (実施状況)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)					
				予算科目	会計	款	項	目	備考	志布志麓庭園整備検討委員会開催数		回	1	1	1	1	1	1				
まちづくりプラン (基本目標)		5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予	1	10	4	6		ア		1	1	1	1	1	1	1				
(個別目標)		3	文化を守り・育み・つなげるまち	主	報償費、旅費、委託料、工事請負費						イ											
(施策)		2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用	対	国指定名勝						成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)			
(基本目標)		4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる								ア		適正な状態に整備された庭園数	箇所	1	1	1	1	2	2		
(施策)		5	観光パワーアッププロジェクト	事	平成21年度～年度 (年間)						イ											
(1) 総事業費の推移		単位	2年度		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度		(4) 評価		所管課による評価					
			(実績・決算)		(実績・決算)		(実績・決算)		(計画・予算)		(計画・予算)		(計画・予算)									
年間トータルコスト	事業費	国県支出金	千円	20,390	39,367	40,712	59,279	25,000	25,000	有効性評価	志布志麓庭園管理基本計画を策定したことにより、国の補助事業の導入で保存修理等ができる。											
		その他特定財源	千円								効率性評価	文化庁の指導を受けながら、国の補助事業を導入して整備している。国指定の文化財であり、国指定の3庭園は市が管理団体となっている。										
		一般財源	千円	20,417	39,945	40,782	74,279	25,000	25,000			達成度評価	志布志麓が令和元年度に日本遺産に認定された。志布志麓庭園である福山氏庭園は、志布志麓を代表する武家庭園であるため、主屋の保存修理が終了次第、積極的に公開・活用する予定である。									
		事業費計 (A)	千円	40,807	79,312	81,494	133,558	50,000	50,000				改革改善案	拡充		○	現状維持	改善	効率化	廃止終了		
		所要人員 (年間)	人	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000													
		人件費概算 (B)	千円	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600													
	(A) + (B)	千円	46,407	84,912	87,094	139,158	55,600	55,600														
(2) 事業概要																						
事業目的	国指定名勝志布志麓庭園(福山氏庭園・天水氏庭園・平山氏庭園)の保存・活用を図る。麓地区の武家屋敷、古民家等の再生を図り、観光まちづくりの資源とする。																					
事業内容	平成19年に国指定となった、志布志麓庭園の保存管理についての指針となる、保存管理計画を平成22年度に策定し、計画的に整備を進め、国指定名勝の活用・整備を図る。																					
開始経緯	地域住民や観光ガイドから早急の整備要望があり、文化庁からも建造物の老朽化が著しい福山氏庭園主屋の早急な保存修理が求められている。																					
実施状況	文化庁の指導を仰ぎながら、福山氏庭園主屋等保存修理等工事を実施し、志布志麓庭園整備検討委員会を開催する。福山氏庭園主屋は令和6年4月公開に向けて整備を行っている。木下邸の保存活用に関する手法等を検討する。																					
成果	主屋の木工事、建具工事、耐震補強工事、防災設備設置工事等を実施し、修復不可能と判断された木材は新規補足材と交換した。庭園部分の保存修理として、樹木の整枝・剪定等を実施するとともに、庭園周囲の石垣の写真測量及び庭門・石塀の実測を行った。																					
課題	国指定文化財の文化財保存修理の方法は、国の基準を満たす工法が必要であり、事業費は高額となる。国庫補助を活用しながら、年次的な保存修理等工事を、文化庁の指導を仰ぎながら実施する必要がある。																					

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		指定文化財活用事業		担当課	生涯学習課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度									
				担当係	指定文化財係					活動指標 (実施状況)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)									
				予算科目	会計	款	項	目	備考	公開活用されている庭園数	件	(実績)	(実績)	(実績)												
まちづくりアソシエーション (基本目標)	振興計画体系	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予算科目	1	10	4	6		ア		5	5	5	5	5	5									
(個別目標)	3	文化を守り・育み・つなげるまち	主な費目	報償費、旅費、印刷製本費、委託料					イ																	
(施策)	2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用	対象	文化財					成果指標 (成果・効果)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)										
(基本目標)	総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	事業期間	平成18年度～年度 (年間)					ア	活用による庭園の見学者数 (一般観光客を除く)	人	300	400	500	500	1,000	1,000								
(施策)	5	観光パワーアッププロジェクト								イ		316	537	156												
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価		所管課による評価															
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)																		
年間トータルコスト	財源内訳	千円							有効性評価	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性 																
	国県支出金	千円																								
	その他特定財源	千円			6,452																					
	一般財源	千円	602	225	1,247	1,351	1,864	1,864																		
	事業費計 (A)	千円	602	225	7,699	1,351	1,864	1,864																		
	所要人員 (年間)	人	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000																			
人件費概算 (B)	千円	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	0	効率性評価	<ul style="list-style-type: none"> ・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携 																	
(A) + (B)	千円	6,202	5,825	13,299	6,951	7,464	1,864																			
(2) 事業概要															達成度評価	<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢・環境の変化 ・事業期間 										
事業目的	国指定及び国登録の志布志麓庭園の活用を推進することによって、歴史遺産を保護するとともに活用する。国県市指定文化財の活用、普及啓発を推進する。併せて国県市指定の促進を図る。						個人が所有する庭園に対して公開謝金を支出しており、公有化することで費用の削減が可能となり、市独自での活用も可能となる。 志布志麓の国指定・登録名勝庭園の公開を継続し、観光客を誘致する。案内板等の設置により、指定文化財の周知活用を行う。																			
事業内容	国指定及び国登録の志布志麓庭園の活用策として、各庭園を所有者の協力によって公開し、公開の規模により、謝金を交付する。国県市指定文化財の活用、普及啓発を行う。文化財の国県市指定の促進を図る。																									
開始経緯	貴重な歴史遺産である史跡・名勝・建造物等が、市民をはじめとした多くの人々に対して公開されることとなった。歴史遺産を公開活用することは、観光客の誘致等に効果がある。																									
実施状況	国指定・登録名勝の全面公開：平山氏庭園、鳥濱氏庭園、天水氏庭園 国指定・登録名勝の随時公開：福山氏庭園、清水氏庭園 市内に存在する国指定天然記念物キイロツチトリモチの生息地について、国指定地化を進める。																									
成果	志布志城跡を含めた、志布志麓を公開することで、観光入込客が増加している。令和4年度に国指定史跡志布志城跡の活用として、コロナ交付金を活用しCG動画を作成して公開した。						改革改善案	拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 廃止終了 <input type="radio"/>																		
課題	文化財の活用を推進するにあたっては、適切な維持管理が必要である。公開している庭園には空き家があるため、今後、管理団体が必要である。																									